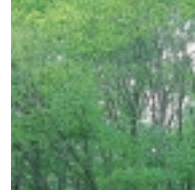


こうふ町 議会だより

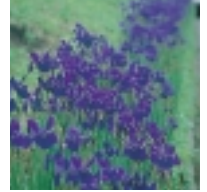
町勢
世帯数/1,141世帯
人口/3,555人
(平成22年2月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ




初春を祝う

一般会計	867万円減額	2 P
一般質問	町政を問う	4 P
地方行政調査報告		8 P

12月定例会

平成21年12月定例会は12月11日に招集され会期を18日までの8日間と定めて開かれた。

今回の定例会には平成21年度の一般会計補正予算と特別会計補正予算、条例の一部改正など18議案が提出された。

議会ではこれらについて慎重に審議した結果いずれも原案どおり可決した。

14日の本会議では、3名の議員が一般質問に立ち、町政について議論した。

尚、一般質問当日には、江府小学校6年生27名の熱心な傍聴があり、児童の丁寧な感想文を頂きました。

一般会計 867万円減額

予算総額 40億1375万円に

補正予算

一般会計

主な内容

● 消防費 (防災費)

599万円増額

防災情報通信施設整備

工事

● 総務費 (経済危機対策
臨時交付金事業)

452万円増額

総合運動公園ナイター

照明設備修繕工事

● 総務費 (経済危機対策
臨時交付金事業)

233万円増額

バス停留所整備



議会傍聴 (江府小学校)



総合運動公園ナイター照明設備

- 総務費（町議会議員選挙費）
138万円減額
町議会議員選挙経費
- 民生費（福祉事務所準備費）
117万円増額
福祉事務所開設準備品
品他
- 民生費（子育て応援手当費）
273万円減額
負担金補助及び交付金
他
- 衛生費（予防費）
172万円増額
新型インフルエンザ助成
- 土木費（道路維持費）
200万円増額
除雪機修繕料
- 土木費（住宅管理費）
59万円増額
町営住宅修繕料
- 教育費（学校管理費）
87万円増額
中学校校舎修繕料
- 教育費（学校情報通信技術環境整備事業）
1千546万円減額
情報システム備品購入費
- 教育費（教育振興費）
563万円減額
遠距離通学補助負担金補助



福祉事務所（総合健康福祉センター内）

特別会計

- ・国民健康保険特別会計（事業勘定）
組替
予備費180万円減額
し、一般被保険者高額療養費に180万円充当するもの
- ・国民健康保険特別会計（施設勘定）
105万円減額
医療用機器購入費等に
よるもの
- ・索道事業特別会計
組替
予備費142万円減額
し施設備品購入費等に充当するもの
- ・簡易水道事業特別会計
75万円増額
配水管移転補償費によるもの

条例制定

- ・農業集落排水事業特別会計
132万円減額
排水施設整備費減額によるもの
- ▼江府町福祉事務所の設置に関する条例
社会福祉法（昭和26年法律第45号）第14条第3項の規定により、福祉に関する事務所（以下「福祉事務所」という。）を設置する。
位置、所管事務、所員の定数等、委任、附則
この条例は、平成22年4月1日から施行する。

条例改正

- ▼江府町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
この条例の一部改正は、住宅手当の基準の変更に期末手当の割合変更について、江府町条例の一部を改正する条例
- ▼江府町職員給与に関する条例の一部を改正する条例
この条例の一部改正は、奥大山スキーリフト料金体系改正について、江府町条例の一部を改正する条例
- ▼江府町職員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議員発議により、議員の期末手当の支給月数の引き下げを行うもの。
この条例は、平成22年4月1日から施行する。
- ▼江府町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例及び江府町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例
特別職の職員の期末手当の割合改正と教育委員会教育長の期末手当の改正



一般質問



問	事業仕分けについて
答	協議・検討してみたい

質問 厳しい財政状況を踏まえ、行財政改革の一層の推進が必要です。国では「事業仕分け」が本格的に始動しております。

本町では基幹的産業基盤、様々な社会資本整備を積極的に進めてまいりました。そのような中、財政健全化法による早期健全化団体に指定されないようシビアな取組みが必要であります。しかし、事業のストップは地域の経済生活にも影響します。政策の優先順位をつけ「事業仕分け」をしてプロセ

行財政改革は過疎地域の振興は

日野尾 優

スを開し町民の納得を得る必要があります。具体的な行政サービスのエッセンスを、町の将来を考へることが肝要であり、町長の所信を伺う。

町長答弁 本町は、単独町を選択し、17年度から本格的な行財政改革を進めております。平成18年度には、行政・住民が一体となって行政改革を進める基本方針「江府町まちづくり推進計画」を定め、以後、その方針・内容に沿いながら懸命に事業展開して参りました。議員・有識者による事業選別の方法もありますが、本町は、国ほど



まちづくり町民会議

膨大な事業、予算もなく小規模自治体・組織であり、提案の事業仕分けの手法が本町になじむのかどうか、協議・検証してみたいと思います。今後引き続き町長と語る会など様々な機会を捉え、町民皆様の日頃の行政サービスに対する評価・意見を聞き、将来の町政・予算に反映させたいと考えております。

問	過疎指定は
答	県・関係町村と要請

質問 過疎地を財政支援する過疎法（過疎地域自立促進特別措置法）が来年3月末に期限切れとなります。現在江府町は過疎指定ではありませんが、報道によれば「従来の施設整備などのハード事業に加え、医師確保や人材育成などのソフト事業もできるようにしたい」と支援措置を拡充させて現行法の延長を目指し、対象地域の追加も検討するとの総務相発言があります。過疎指定について、動向なり取組みについて町長に伺う。

町長答弁 法律により過疎対策は、過疎地域における住民福祉の向上、働く場の創出などを目的に昭和45年度からの過疎地域対策緊急措置法に始まり、以後10年ごとに法律改正・更新等が行われ40年が経過しております。

平成12年4月から第4期措置法が制定され現在に至っています。過疎指定の条件は、人口の減少要件・財政力指数などがあり、直近の第4期は、中国電力からの固定資産税

などがあり、財政力指数が基準を超え指定を受けることが出来ませんでした。本町の場合、大規模な投資事業、近年では総合健康福祉センターをはじめ、町道・農道・上下水道など進めてまいりました。過疎対策の一層の充実・強化のため新たな立法措置が必要であり、県、関係自治体は、国に要望しております。新たに過疎地域に指定となつたとしても、厳しい財政状況には変わりありません。有利な起債が起これども、その償還に係る3割は一般財源を確保しなければなりません。多額の公債費の償還が続く当面は、財政の健全化を重点に取組みながら、住民生活に真に必要な事業へ過疎債を充当し、事業執行及び財政運営を行ないたいと考えております。



問	財政状況は
答	改善に努力する

質問 政治は生き物であり、これまで、色々なドラマを生んできました。

今回の民主党政権の誕生は、本町運営にどのような影響が出てくるのか。予算編成に向かって行く時期になったが、どのような方針で臨むのか、依然として厳しい財政状況であり、実質公債費比率、経常収支比率も極めて高いが、今後どう改善して行く考えか伺う。

町長答弁 従来の自民党政権から民主党政権に変わ

予算編成と教育行政は

田中 幹啓

わり、予算の組み方も、大きく変わろうとしています。

江府町への影響は具体的に不透明であり、統括的には地方が切り捨てられ都市型の国政が進む様な状況ですが、普通交付税、地方分権、地方の権利等民主党もいわれておりますので、中身は分かりませんが大きな変動がなく、プラスになる事を願っています。

22年度の予算編成は、江府町の将来の基本方針である、元気で明るく輝くまちづくりのため、一歩ずつ、大きな目標に向かって努力しています。

特に健康対策、高齢者の方に長生きをしていただく施策や子供達にも優しく元気に育ってもらうために重点施策として考えております。

問	廃校舎の今後は
答	早急に結論

質問 4月に小学校の統合があり、約9ヶ月が経過しました。よりよい学校にするため小学生、保護者

先生に給食、図書館、いじめ等についてアンケートを実施されたらどうか。廃校になった明倫、米沢、俣野、米原、下蚊屋分校等の跡地をどのようにするのか。明確な方針が今出していない。特に俣野小学校は県の景観大賞になった貴重な財産であり、今後この様にされるのか伺う。

町長答弁 統合という学習環境の中で子供達がすくすくと育っているのが学習効果や通学についても教育委員会内で学校長、先生、PTAの方々と検討していただいている。

具体的にはPTAがアンケートを取りまとめ、要望等に関係各課、部局と協議しながら良い学校環境を作るため、不安不満に対し情報収集し、迅速に対応いたします。



俣野小学校

廃校になった本校3校分校の具体的な公表をしていませんが、今現在、米沢小学校は、耐久性もあり資料の保管に使用し、グラウンドは旧校区の健康作りに使用したい。明倫小学校は一部校区で使用し、残りは取り壊す。俣野小学校は江府町の奥大山交流拠点として活用を図っていく。米原分校は景観のいい所でもあり、インターネット等で公募いたします。下蚊屋分校は神楽の拠点として活用していただくよう地元と協議中です。

一 般 質 問



問	分庁方式が望ましいのか
答	本庁一ヶ所が望ましい

質問 江府町の本庁舎の中には、現在総務課・企画政策課・町民生活課があります。福祉保健課は診療所併設、教育委員会は、防災情報センターそして、建設課・農林産業課・農業委員会については、山村開発センターへ移転予定ですが、今までの所が仮設で、耐久的に問題があり、やむを得ません。住民サービスの低下に繋がるのではないかと、町行政が分散化される懸念がある。各課の調整・効率化・費用面についてもコストがかかり過ぎるのではないかと、各課での決裁等についても、時間のロスを感じます。町民

住民サービスと 庁舎の在り方

川上 富夫

が用事をされる場合、各課を回らなければいけません。

しかし、年間数日しか使用されていなかった施設を利用することは、反面良かったのではと、多くの町民の方々の声を聞きます。長年の懸案であ

ります庁舎について、真剣に取り組む時期に来ているのではないかと、町長の所見を伺う。

町長答弁 庁舎は一カ所が、一番いい住民サービスにつながる。今、厳しい財政状況か



現在の東庁舎



山村開発センター

ら、優先順位を検討して山村開発センターへの二課と農業委員会の移転を判断したわけですが、財政推計については住民サービスの向上への福祉対策の予算措置が精いっぱいです。

庁舎問題については、目標年度を掲げることができないところですが、適地とすれば、やはり防災情報センター並びに駐車場スペース・JA江府支所の今後の状況を踏まえて考えていくのが、住民サービスの向上だと考



陳情の審査結果

みなさんから提出のあった陳情を審査した結果、次のとおり決定しました。

件名及び要旨	審査結果
脳卒中対策基本法の早期制定について	採択
電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出について	採択
改正資金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府に提出することを求める陳情	趣旨採択
2010年度年金の減額改定をおこなわないことを求める陳情	趣旨採択
消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情	不採択
後期高齢者医療制度の即時廃止に関する陳情	不採択
E P A ・ F T A 推進路線の見直しを求め、日米 F T A の推進に反対する陳情	趣旨採択
平和教育の推進を求める陳情書	趣旨採択
島根原子力発電所の早急な耐震補強対策と原子力に依存しないエネルギー政策の転換を求める陳情書	趣旨採択
「現行保育制度に基づく認可保育所の増設、保育・学童保育条件の改善子育て支援施策の拡充と保育関係予算の大幅増額を求める意見書」提出を求める陳情書	採択

【継続審査】

2010年度国家予算編成において、教育予算拡充を求める陳情書	採択
--------------------------------	----

企業からの報告（政治倫理条例関係）

受付日付	平成21年7月9日	平成21年10月16日	平成21年10月16日	平成21年10月29日	平成22年1月18日
企業名	㈱かわばた	㈱かわばた	㈱かわばた	㈱かわばた	㈱かわばた
議員と企業との関係	代表取締役社長	代表取締役社長	代表取締役社長	代表取締役社長	代表取締役社長
契約の内容	江府小学校駐車場造成工事	町道江尾杉谷美用原線側溝修繕工事	町道江尾久連大谷線久連橋修繕工事	江府町公共施設解体整備工事	美用地区農業集落排水（1工区）工事
請負の方法	指名競争入札	指名競争入札	指名競争入札	指名競争入札	指名競争入札
請負金額	7,987,350円	3,699,150円	11,622,450円	11,453,400円	7,862,000円

企業の考察等 この工事を請負っても㈱かわばたの業務の主要な部分を占めているとは言えないため。

その他 平成20年度㈱かわばた完工高5億1,457万9千円

地方行政 調査報告

(平成21年10月13日～15日)

福島町議会について

北海道松前郡福島町

調査の概要及び結果
福島町議会の活性化への取組みについて
自立のまちづくりについて

目的
地方分権の推進に伴い、地方自治体が担う役割はますます増大し、住民の代表機関として自治体の最終意思決定にあずかる議会の役割と責任は格段に重くなることにかんがみ、先進的な町を調査し、江府町のまちづくりに活かす。

概要
福島町は、世界一長い海底トンネル「青函トンネル」の北海道側出入口の町。
人口54,000人、21年度予算額32億2,800万円、議員定数12名。
福島町の議会活性化への取組み等については、議会改革に取組んでいる

木古内町について

北海道上磯郡木古内町

調査の概要及び結果
木古内町の保健・医療の取組みについて
老人福祉の取組みについて

目的
少子高齢化の中、保険・医療・福祉の連携のもと、住民サービスに努めていくことが肝要であり、先進的な町を調査し、江府町のまちづくりに活かす。

概要

函館市から車で約50分、JRで45分の場所に位置する。
青函トンネル開通により本州から接続する在来線最初の駅で、現在2015年の北海道新幹線開通に向け、工事が進められている町。
人口54,944人、世帯25,667、21年度予算額34億6,600万円、議員定数12名。

先進町の栗山町、白老町などを参考に年数をかけ積み上げ、町独自に取組みをした。

平成11年住民に開かれた議会づくりを目指し、住民の町政への参加推進を図り、平成20年3月から通年議会等を試行、議会活性化事項の試行に関する実施要綱を制定。
平成21年4月から「まちづくり基本条例」「議会基本条例」を施行した。議会・議員の役割と責任に基づき、

一、町民と議会の協働・情報共有。

一、町長等執行機関との適切な緊張を維持しながらの善政競争。

一、町民・議会・行政が協働し、政策実現にむけての多様な参加討議。

一、議会・議員の評価制度等適正な議会機能の展開。

一、公開性・公正性・透明性・信頼性の議会基本条例制定。



福島町調査



木古内町調査

考察
町は自立プラン（平成18～21年度）歳入の減少による財政悪化に対応するため、人件費をはじめとし、事務事業、施設運営費や補助金並びに大型建設事業において、徹底したコスト削減や規模縮小を行い「赤字再建団体」にならないように努力し、町民の負託に応え、豊かなまちづくりのため、不断の努力を続けている。

町は自立プラン（平成18～21年度）歳入の減少による財政悪化に対応するため、人件費をはじめとし、事務事業、施設運営費や補助金並びに大型建設事業において、徹底したコスト削減や規模縮小を行い「赤字再建団体」にならないように努力し、町民の負託に応え、豊かなまちづくりのため、不断の努力を続けている。



福島町調査一行



木古内町介護老人保健施設

町の中心部に町立病院、健康管理センター、公営住宅、介護老人保健施設などがあり、地域住民の健康維持・管理に取組んでいる。
病院には近隣町からの受診者も多く、24時間体制で救急患者も受け入れている。来年5月には改装オープン予定で、現在新病院を建設中。
少子高齢化が進み、生産人口の減少（町内に企業がいないため特に若者が札幌市などに転出）などにより、社会活力の低下

社充の充実、各家庭や地域に必要な福祉サービスの提供、施設サービスなど、幼児から高齢者まで全町民の健康づくりを推進しており、利便を図るため医療機関送迎バスを設けている。また、介護老人保健施設は、複合施設（老健施設・公営住宅）としてユニークな取組みが好評を得ている。

考察
わが町も少子高齢化の中、高齢化比率が38%を超え、高齢者の独居世帯及び高齢者世帯も増加の一途をたどっている。
一、地域で安心して暮らせる高齢者福祉対策。
二、健康増進対策等地域ですすめる健康づくり。
安心できる医療体制等保健・医療・福祉の連携のもと第4次総合計画「小さくても元気で明るい輝きのあるまちづくり」に基づき、地域住民の保健予防意識の高揚と未来ある豊かな環境づくりのための少子化対策等、目指すべき将来への医療の実現に向け、関係者が一体となって取組むことと考察となった。

総務経済常任委員会

調査日 平成21年11月5日

事務調査

1. 地域高規格道路江府三次線（江府道路）の進捗状況

平成20年9月24日に地域高規格道路「江府道路」のルート変更について、県土整備局が議会に説明され、平成21年10月23日現在までの説明を受けたところです。江府町議会としても、将来に向けて江府道路の整備は、必要であり早期着工を望むものです。

県・町一体となつて一層努力されたい。

2. 国道482号下蚊屋バイパスの進捗状況

平成23年春の供用開始を目指して、工事が進んでいます。平成21年度までの進捗率は78%まで進み、工事の費用約30億円が投入され、急ピッチで工事が行われています。



下蚊屋バイパスの進捗状況

地元住民の安全安心に十分配慮され、工事を進められたい。

3. 行財政改革の進捗状況

平成20年度決算における実質公債費比率は、22・8%と国の基準18%を上回っています。平成24年まではかなり厳しい推移が出ていますが、適正化に向けて行財政改革が

進んでいます。

平成16年から5年間の行財政改革進捗状況を見ますと、特に建設費に於いては、26%まで削減し、人件費に於いても職員66人で住民サービスに努めると共に、町長報酬20%カットをはじめ、議員報酬12%カット、職員も7%カットするなど取り組んでいるが、繰上償還等を行うなど、実質公債費比率を確認しながら行財政改革に努められたい。

現地調査

1. 下蚊屋バイパス工事の状況

工事箇所が下蚊屋集落全域にわたって行われている状況です。工事の安全施工は勿論ですが、集落の生活に支障がないよう十分配慮が必要です。

工事の安全施工が進むよう、県土整備局と連携を取りながら、早期完成に努められたい。

2. 小江尾工業団地の現状と企業誘致

工業団地の一部を水稻育苗目的で、鳥取西部農業協同組合に平成19年から5年間、有償で貸し付けている。県日野総合事務所が、期限を定めて下蚊屋バイパス・南大山農道の土砂、残土の仮置き場として使用している。企業誘致も厳しい現状ですが、早期に工業団地として、整地されるよう努められたい。



工業団地の状況

3. 指定管理施設笠原市民農園の管理運営状況

管理棟の浴室の改良、コテージの修理など施設整備が行われたが、利用者が予想以上に減少している。農園の区画面積の再考を含め、行政と一緒に、改善に努められたい。

4. 町道・農道・林道の管理状況と危険箇所

町営バスの運行が開始されている、杉谷地内が特に幅員が狭く、落石の危険が確認されている。

5. 江府小学校体育館建設状況

無災害・無事故で工事が完成する予定でしたが、事故の発生により、不安が出ています。今後無事故・無災害で工事が行われるよう、安全管理の徹底に努められたい。

早期改良が望まれる。

各路線の危険箇所について、パトロール等により、事故がないよう維持管理に努められたい。

教育民生常任委員会

調査日 平成21年11月19日

江府小学校

平成21年4月、新たに児童数144名の江府小学校がスタートした。これまで校舎の耐震補強と大規模改修、駐車場の設置がなされ現在体育館が建設中である。施設として残された課題は、古

くなったプールであるが町の財政をにらんで検討して頂きたい。通学については、PTAや交通安全指導員、地域のボランティアの協力でバス通学児童107名の安全が確保されている。又、統合当初に見られた地域の児童で集まる傾向も、すぐに解消しわだかまりなく交流できている。

今年で3年目になる全国学力学習状況調査は6年生を対象に行われたが、国語、算数とも全国、県平均を上回っている。

江府中学校

保護者には詳しい結果や今後の課題など通知されていますが、今後とも学力向上に取り組みようお願いします。

校舎は建設から50年経過し、老朽化が見られる。本来なら建て替える時期であるが、町の財政や将来の生徒数(10年後の生徒数予測53名)をも考慮し、今後の方針を決める必要がある。今年度中に「中学校あり方検討会」が立ち上げられることになつており、そこで十分議論をお願いしたい。現在の生徒数は1学年33名、2学年41名、3学年37名の111名である。1学年と3学年は、本来1学級となるが教育的配慮から県と町の負担で2学級としている。来年度も2

年生となるこの学年を2学級とするよう是非配慮して頂きたい。なお、全国学力学習状況調査は3年生を対象に行われたが、小学校と共に国語、数学とも全国、県平均を上回っている。保護者の通知の中にも書かれているがこの結果から課題も見えてきているようであり、今後学力向上に取り組みんで頂きたい。



江府小学校新体育館

江尾診療所

診療所の患者数は医科については1日平均70名を超え、歯科は一時減少していたが1日平均37名と回復してきている。現状を考えると限界と思われる。待合室の混雑や待ち時間が2時間にもなり苦慮されている。又、診療所の駐車場が不足しているなど検討が必要である。

る。経営は基金の積み立てが1億円と安定しているが、昨年、単年度赤字500万円となったことも踏まえ、将来住民に十分な医療サービスを提供できるよう、その運営には十分注意をお願いしたい。新型インフルエンザ対策は、若干ワクチンが不足気味であるが、順次一般の人にも摂取するよう準備されている。今後とも、基本的な予防対策などの啓蒙に努められるようお願いしたい。

社会福祉協議会

現在ホームヘルパー5名を含め11人の職員で運営を行っている。事業の中心は在宅福祉サービスですが経営的には厳しく、町の補助を得て運営されている。現在、給与の10%カットを行っているが、10月末の予測では約500万円の赤字が予測される基金の取り崩しが必要と見込まれる。町の厳しい財政状況により、平成18年度に約1600万円あ

町民生活課

った補助金が平成19年度は約800万円と半減し、職員の人件費を削減するなど経費削減に努めているが限界に来ている。取り崩し可能な基金の積立残高が約3,500万円ある今から、町の重要な在宅介護を担う、社会福祉協議会について「ありかた検討委員会」等通じ将来の方向を示す必要がある。

本年3月より、日本交通に運行委託し始まった町営バスは、4月より小学校統合により多くの児童が利用することになった。半年たった時点で見直し11月から新しいダイヤで運行している。今後とも問題点を洗い出し、より良い運行に努めて頂きたい。特に、江尾診療所の駐車場が狭いことを解消するため、バスの駐車スペースを別の場所に持つていけないか町全体で検討して頂きたい。

ひとこと



御机 林 晶子

元気な子供達

私の子供もやっと4才になりました。いつも、子供と遊んでいると思う事があります。最近の子供達はあまり外で遊んでいないのでは？

私たちが子供の頃は、山に遠足したり近所の友達を呼びみんな、けいどろをししたり、チャリンコではしりまわっていた思い出があります。

近所に同じ年の子供が少ないというのも原因かもしれないのですが、本当に外で遊んでいる子供の姿を見ません。何かすぐくさみしいですね。

せつかく大自然に囲まれているのに、家の中でばかり居るのでしょか。

私は、子供に自然の中で遊んでおいしい空気をすいながら昔ながらのあそびを、時間をかけて、教えてやりたいと思います。

私もよく家のまわりを子供と一緒に、散歩をします。その時子供の瞳はとも輝きすごく楽しそうに色々な発見をして、教えてくれます。私も楽しく風を感じ鳥の声を聞き緑の匂いを感じながら日頃の疲れを忘れさせてくれます。

江府っ子は元気が一番。たくましくやさしい思いやりのある子に育ってほしいです。私も負けずにがんばらないと強く思います。

私の働いている職場もすぐくみんな元気があり活気があります。いろいろな人と出会う会話をし、人生の勉強にもなります。たくさんの出会いを大切にしていきたいです。

子供たちの笑顔が一番の宝です。

みんなが笑顔でいれるように町の取り組みにも関心を向けて、協力していきたいと母親として思います。

僕は今、父親と一緒に自営業でして「川上装飾」という内装業をしており、また江府町商工会青年部に所属しています。

そこで地域や県内での活動で多くの事を学びました。年齢や職種が違う様々な人たちとの出会いが自分にとって、とてもいい経験となり自分を成長させることができました。

7月には土曜夜市、8月になれば十七夜で江尾城太鼓を毎年しています。

また県内の商工会青年部の

江府町が好き



久連 川上 剛司

人たちとの交流も多く、普通に生活をしていけば出会う機会のない人たちと話し合ったり勉強したり、そこで顔見知りになり偶然あったときなどに声をかけてもらえたりとても素晴らしい経験をさせてもらっています。

また酒を飲む機会もたくさんあり、酒好きの自分にとってはいい場所でもあります!!

酒と一緒に飲み仕事の話や商工会青年部内の話などを熱く熱く語り明かし、笑いあいてとてもいい先輩や知り合いができたと思います。

そんないい経験をさせてもらった商工会青年部や江府町が僕は大好きです。

今は一番年下で色々気を使いますが、それも勉強だと思えますし、仕事でもプライベートでも活かしていけることだと思ったらそれも楽しく、とても充実した青年部ライフが送れていると思います。

これからもどんどん活動していきそんな素敵な知り合いや仲間を増やして、それと共に自分ももっともっと成長していきたいです。

あとがき

◆政権交代で東京永田町も様変わり、国政選挙前までは警視庁の車輛が自民党本部前に五台で警備、昨年の暮には自民党本部前にはさびしく一台、民主党本部前五台と人の出入りが全く変ったようです。

◆中央政界がごたごたしています。

一日も早く政治経済とも安定し我々の暮しに活気もどる事を望みます。

◆地下鉄電車内のドア広告に、ある新聞社が民主党マニフェストについて「コンクリートから人へ」

コンクリートで生活している人はどうなるのとの評

森田 智

議会広報調査特別委員会

- 委員長 日野尾 優
- 副委員長 川上 富夫
- 委員 森田 智
- 委員 池田 成弘
- 委員 越峠恵美子